

# 東京

## 「其の日」暮らし

|| ドイツ編 ||



### 三角錐の入学祝い

家の庭でひっそりと咲いているキキョウや近所の庭先で咲いているコスモスを見ると秋の訪れを感じます。日本で9月といえば夏休みが終わって2学期の始まりになりますが、ドイツでの9月は入学シーズンなのです。とはいっても幼稚園の場合は3歳の年からの入園ですが入園式があるのではなく、半年から1年前（人気の幼稚園は生まれてすぐということもある）に予約リストに応募しておき、空席が出来たらそれぞれ3歳になった順に幼稚園に通い出すので、「今月の新しいお友達」という感じで仲間に入っていくのです。クラスも3歳から6歳までの子が同じクラスにいるので年上の子供は下の子供の面倒を見るといのが自然に出来るようになるのです。また、卒園式については息子の通う幼稚園では卒園式はありませんでしたが友達の子供の幼稚園では卒園パーティーがあったそうです。幼稚園にもありますが日本のような卒園式といった形を取らないようです。



日本と同じ花が咲いていました

小学校入学については日本のようにみんなが入学というわけではないようで、小学校指定の医師による適性検査を受け、幼稚園を卒園してすぐに小学校に入学するか、それともフォアシューレと呼ばれる「小学校の前の学校」で1年間準備をして翌年に入学するかを指示されるようです。そして小学校は4年制。なんと小学3年生で進路を決定しなければならぬようです。

入学式に持って行く物といえばもちろんランドセル。そしてドイツではシューレテューテ（学校のカバン）をこの日だけ特別に持って行きます。このシューレテューテとは画用紙や厚紙で作った三角錐のもので中には文房具、お菓子など両親からの入学祝いが入っているのです。お店で売っている物もあれば、幼稚園の先生



息子が作ってもらったシューレテューテ

が用意した物を卒園式に渡して貰ったり、自分たちで作ったり色々あるようです。

夏休み前のある日、息子が嬉しそうにシューレテューテを幼稚園から持って帰ってきました。彼は今年4歳。まだまだ小学校には早いのですが今年の9月に入学する年上の子がシューレテューテを自分たちで作ることになり、いつも工作室に入り浸っている息子の分

も一緒に作ってもらったと教えてくれたのです。

**PUKIPUKI** ♪

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

（株）ファッションビジネス・御堂筋新聞